

担	沖縄労働局労働基準部 健康安全課 課長 梅澤 栄
当	電話：098（868）4402

（一社）沖縄県産業資源循環協会において、『令和6年度安全衛生研修会』が開催されました。

一般社団法人沖縄県産業資源循環協会（会長 赤嶺太介）は、沖縄県内の産業廃棄物処理業界における安全衛生水準の向上及び労働災害防止を目的に令和6年10月31日（木）、沖縄県立博物館・美術館（講堂）にて、安全衛生研修会を開催いたしました。

会長挨拶、行政による労働災害防止対策等、石綿飛散防止対策等について説明が行われました。

関係者の安全衛生に係るご尽力に感謝いたします。引き続きご安全をお願いいたします。

（会長御挨拶）

本日はお忙しい中、安全衛生研修会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

まず初めに、日々の業務において安全と健康を最優先に考え、努力を続けている全ての会員企業ならびに従業員の皆様に心から感謝申し上げます。皆様の献身的な取り組みが、私たちの業界の発展と持続可能な社会を支えていることを強調したいと思います。安全衛生は、単なる規則や手順の遵守にとどまらず、私たち一人ひとりの意識と行動にかかっています。

今日の安全衛生研修会では、互いに学び合う貴重な機会となることを期待しています。特に、私たちの業界が直面する特有のリスクや課題についても考え、より安全で健康的な職場環境を築くための具体的な方策を見出していきたいと考えています。

私たちの産業廃棄物業界は、美ら島沖縄の環境を守り循環型社会の形成に非常に重要な役割を果たしています。産業廃棄物の適正処理は、環境保全に直結しています。そのため、安全衛生の確保は、単に従業員の健康を守るだけでなく、広く社会全体に対する責任でもあります。私たち一人ひとりがその責任を自覚し、日々の業務に取り組むことが求められています。



赤嶺 太介会長

さらに、コミュニケーションの重要性についても触れたいと思います。安全衛生に関する情報は、全ての従業員に迅速かつ正確に伝えられる必要があります。オープンで透明性のあるコミュニケーションが、事故や災害の防止に繋がります。

皆様が日々の業務の中で感じたことや気づいたことを積極的に共有し、改善に繋げていくことが重要です。

最後になりますが、今回の安全衛生研修会の開催にあたり、多大なるご尽力をいただいた関係者《厚生労働省 沖縄労働局労働基準部 健康安全課》《沖縄県 環境部 環境整備課》《沖縄県 環境部 環境保全課》《沖縄県 中部保健所 環境保全班》の皆様へ深く感謝申し上げます。また、講師の先生方には貴重なご講演を賜り、心より御礼申し上げます。

それでは、皆様の安全と健康を祈念し、本日の安全衛生研修会が実り多いものとなることを願って、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

令和6年10月31日

(一社) 沖縄県産業資源循環協会 会長 赤嶺 太介

(研修会の様子)

